平成 29 年３月 27 日

平成 28 年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）の公表について

このたび，平成28年度学校保健統計（学校保健統計調査報告書）を取りまとめたので，公表します。

１．調査の概要

（１）調査対象：国立，公立，私立の幼稚園，幼保連携型認定こども園，小学校，中学校，中等教育学校，高等学校の満５歳から 17 歳までの児童等の一部（抽出調査）。

抽出率　発育状態：全幼児，児童及び生徒の　5.0%（　695,600 人）

健康状態：全幼児，児童及び生徒の 24.9%（3,437,062 人）

（２）調査事項：学校保健安全法により実施される健康診断の結果に基づき，児童等の発育状態（身長，体重）及び健康状態（疾病・異常の有無）を調査。

（３）調査時期：平成 28 年４月１日から６月 30 日の間に実施。

２．調査結果のポイント

【発育状態調査】

（１）身長の平均値の推移は，平成６年から 13 年度あたりをピークに，その後横ばい傾向。

（２）体重の平均値の推移は，平成 10 年から 18 年度あたりをピークに，その後減少傾向。

（３）肥満傾向児の出現率の推移は，年齢層によりばらつきはあるが，平成 18 年度以降概ね減少傾向。

【健康状態調査】

（１）むし歯に関しては，ピーク時（昭和 40～50 年代）より減少傾向が続いており，中学校及び高等学校で過去最低。

（２）裸眼視力が 1.0 未満の者は増加傾向にあり，小学校，中学校及び高等学校で過去最高。

（３）せき柱・胸郭の疾病・異常とあわせ，四肢の状態について新たに調査。

＜担当＞　生涯学習政策局政策課調査統計企画室
電話：03-5253-4111（代表）
（内線3240，2262）

平成28年度学校保健統計調査速報　調査結果のポイント

１．身長（平均値）

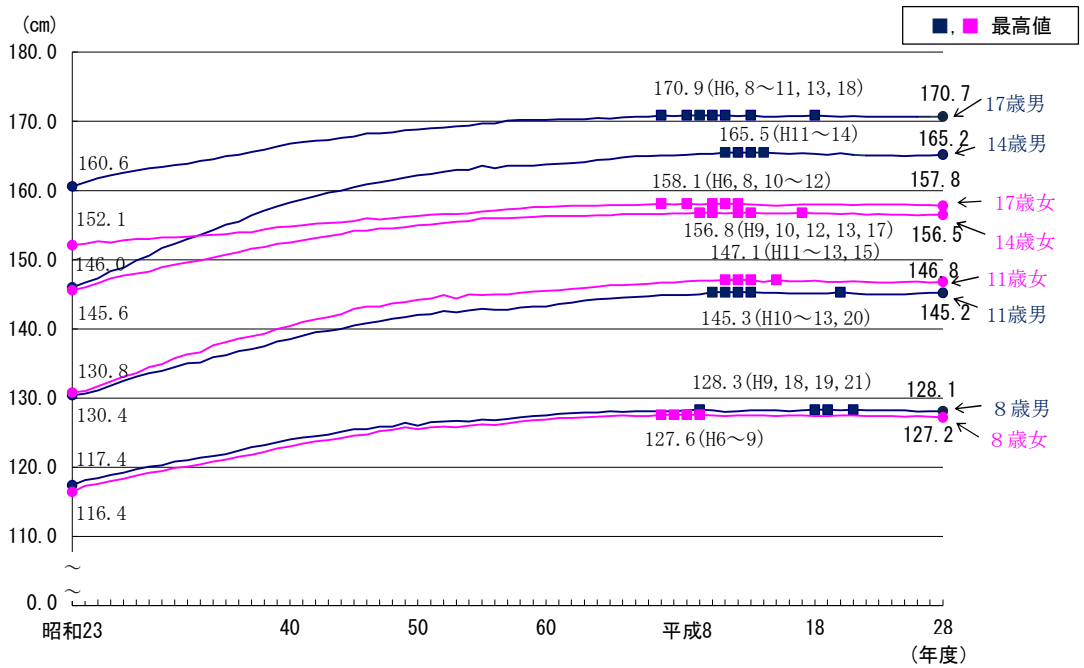
（cm）

区　分	男　子			女　子		
	平成28年度 A	平成27年度 B	前年度差 A－B	平成28年度 A	平成27年度 B	前年度差 A－B
５歳（幼稚園）	110.4	110.4	0.0	109.4	109.4	0.0
６歳（小学校1年生）	116.5	116.5	0.0	115.6	115.5	0.1
７歳（小学校2年生）	122.5	122.5	0.0	121.5	121.5	0.0
８歳（小学校3年生）	128.1	128.1	0.0	127.2	127.3	△ 0.1
９歳（小学校4年生）	133.6	133.5	0.1	133.4	133.4	0.0
１０歳（小学校5年生）	138.8	138.9	△ 0.1	140.2	140.1	0.1
１１歳（小学校6年生）	145.2	145.2	0.0	146.8	146.7	0.1
１２歳（中学校1年生）	152.7	152.6	0.1	151.9	151.8	0.1
１３歳（中学校2年生）	159.9	159.8	0.1	154.8	154.9	△ 0.1
１４歳（中学校3年生）	165.2	165.1	0.1	156.5	156.5	0.0
１５歳（高校1年生）	168.3	168.3	0.0	157.1	157.1	0.0
１６歳（高校2年生）	169.9	169.8	0.1	157.5	157.6	△ 0.1
１７歳（高校3年生）	170.7	170.7	0.0	157.8	157.9	△ 0.1

注１：年齢は，４月１日現在の満年齢である。以下の各表において同じ。
　２：△は減少していることを表す。以下の各表において同じ。

○身長の平均値の推移

平成６年度～13年度あたりをピークに，その後は横ばい傾向である。



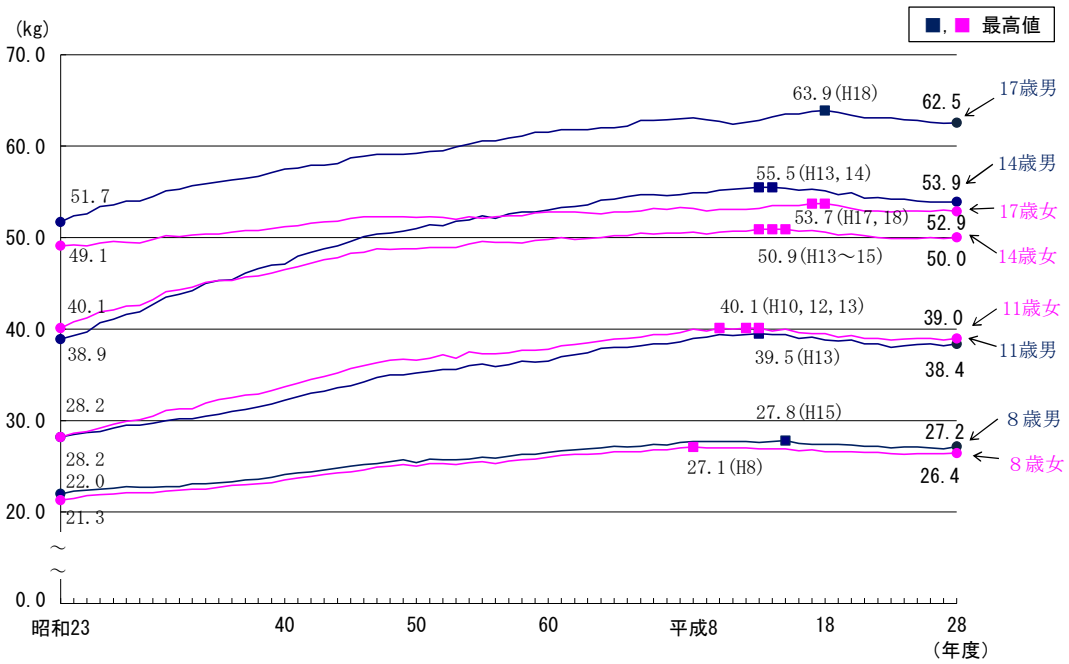
２．体重（平均値）

（kg）

区　分	男　子			女　子		
	平成28年度 A	平成27年度 B	前年度差 A－B	平成28年度 A	平成27年度 B	前年度差 A－B
５歳（幼稚園）	18.9	18.9	0.0	18.5	18.5	0.0
６歳（小学校1年生）	21.4	21.3	0.1	20.9	20.8	0.1
７歳（小学校2年生）	24.0	23.9	0.1	23.5	23.4	0.1
８歳（小学校3年生）	27.2	26.9	0.3	26.4	26.4	0.0
９歳（小学校4年生）	30.6	30.4	0.2	29.8	29.7	0.1
１０歳（小学校5年生）	34.0	34.0	0.0	34.0	33.9	0.1
１１歳（小学校6年生）	38.4	38.2	0.2	39.0	38.8	0.2
１２歳（中学校1年生）	44.0	43.9	0.1	43.7	43.6	0.1
１３歳（中学校2年生）	48.8	48.8	0.0	47.2	47.3	△ 0.1
１４歳（中学校3年生）	53.9	53.9	0.0	50.0	49.9	0.1
１５歳（高校1年生）	58.7	59.0	△ 0.3	51.7	51.5	0.2
１６歳（高校2年生）	60.5	60.6	△ 0.1	52.6	52.6	0.0
１７歳（高校3年生）	62.5	62.5	0.0	52.9	53.0	△ 0.1

○体重の平均値の推移

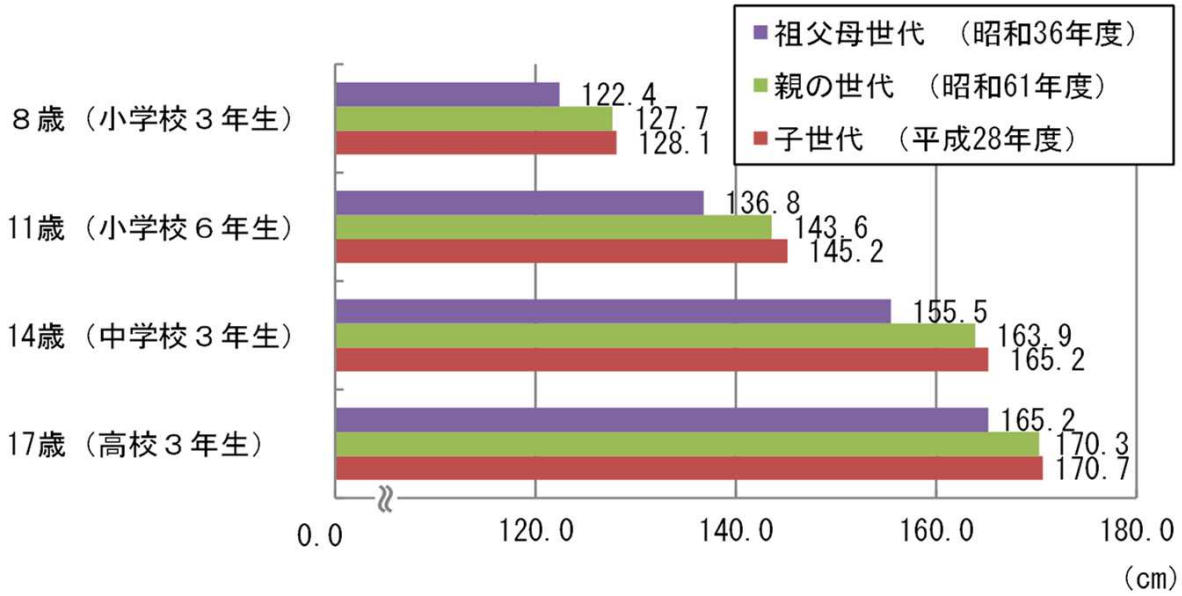
平成10年度～18年度あたりをピークに，その後減少傾向がうかがえる。



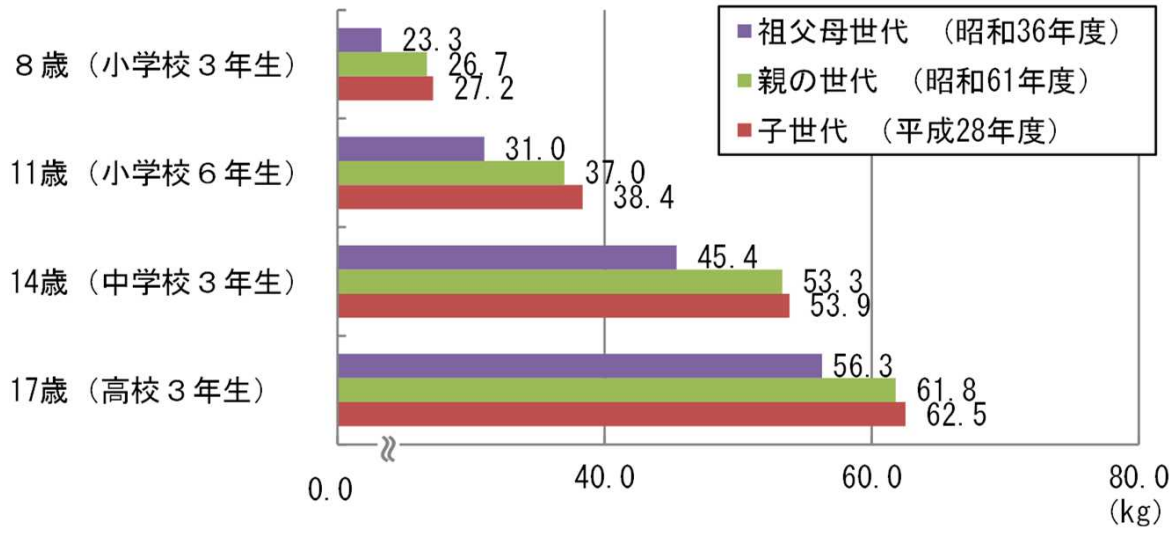
３．発育状態の世代間比較（身長・体重）

子世代，父母世代（30年前），祖父母世代（55年前）を比較すると，身長・体重とも各世代間で増加していることがわかる。全体的には祖父母世代から父母世代が大きく増加している。父母世代と子世代の間でも増加しているが，祖父母世代と父母世代の間に比べると増加の割合は小さい。

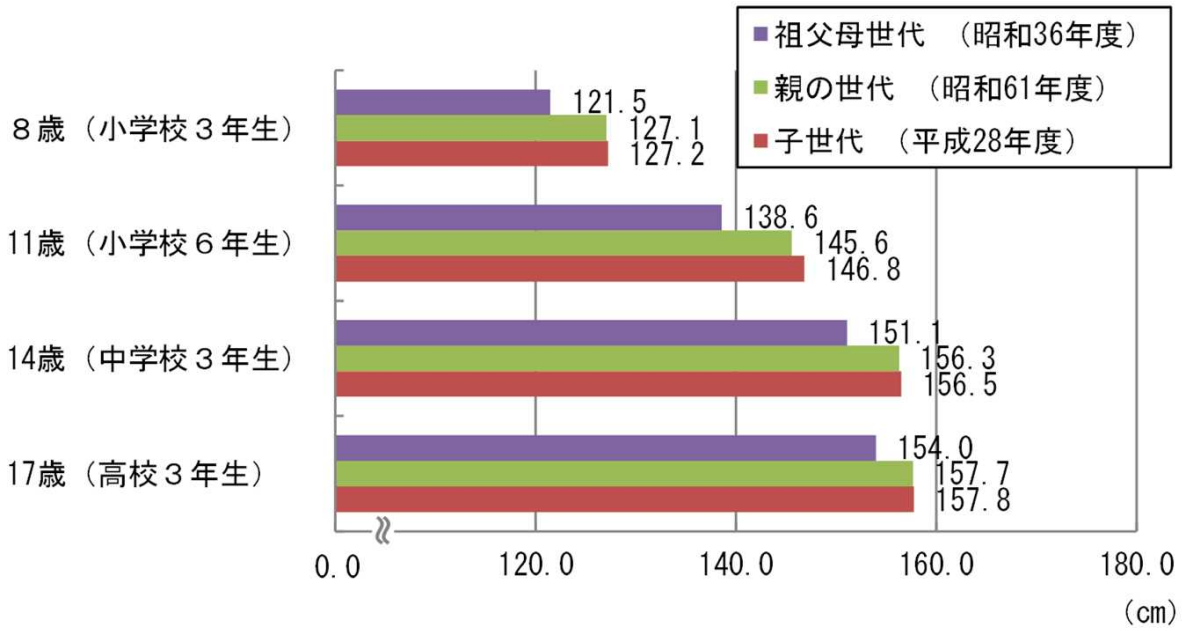
平均身長（男子）



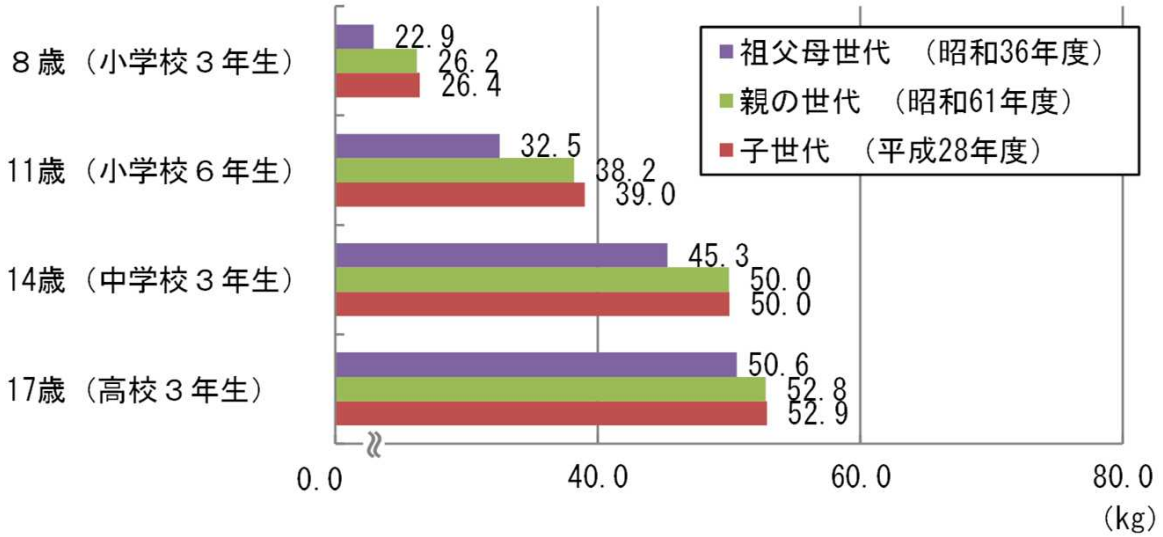
平均体重（男子）



平均身長（女子）

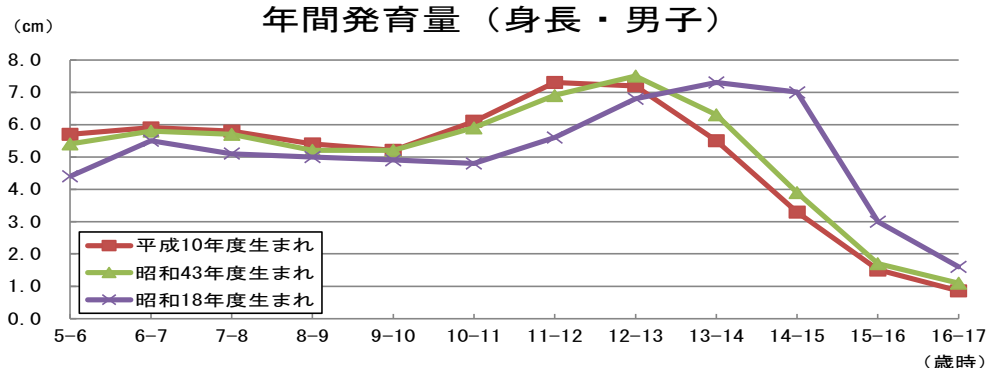


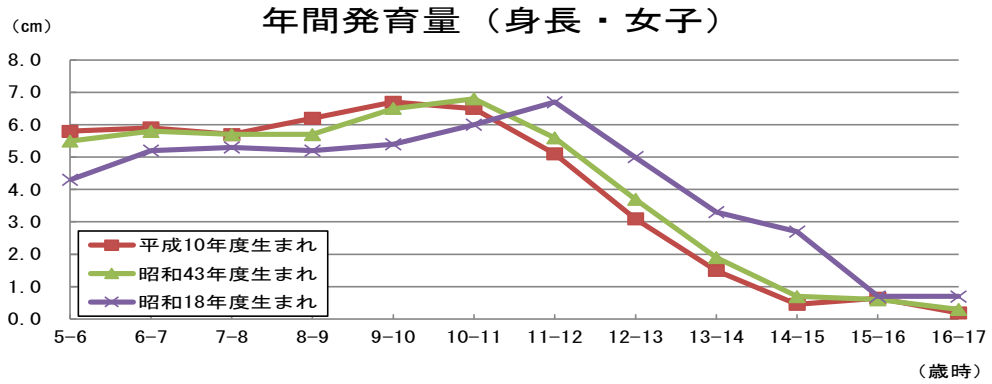
平均体重（女子）

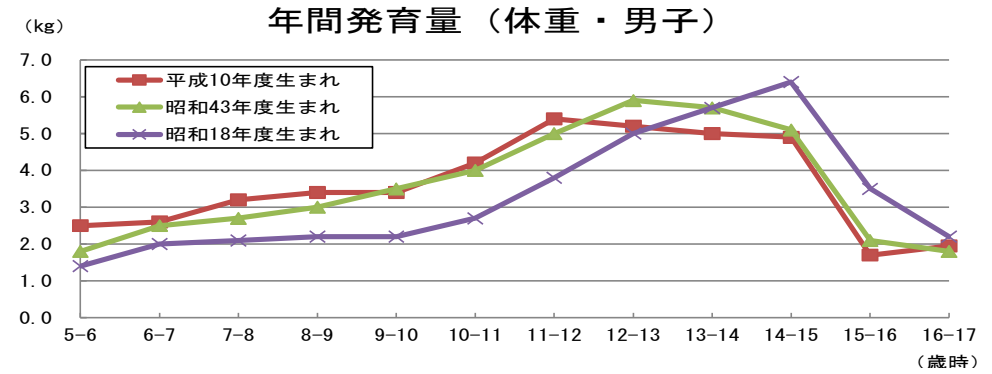


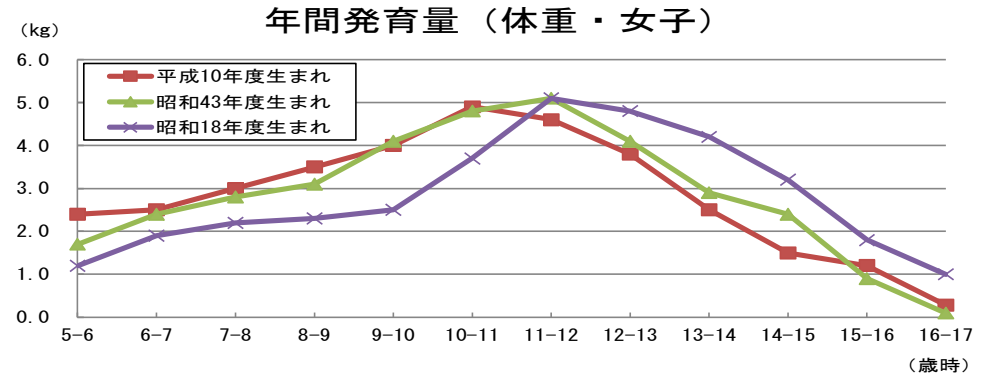
４．年間発育量の世代間比較（身長・体重）

男子，女子共に身長，体重のいずれも，現代に近い世代ほど早期に増加している。









注：「平成10年度生まれ」は現在17歳（高校３年生），「昭和43年度生まれ」は父母世代の17歳，「昭和18年度生まれ」は祖父母世代の17歳の数値。

５．肥満傾向児の出現率の推移

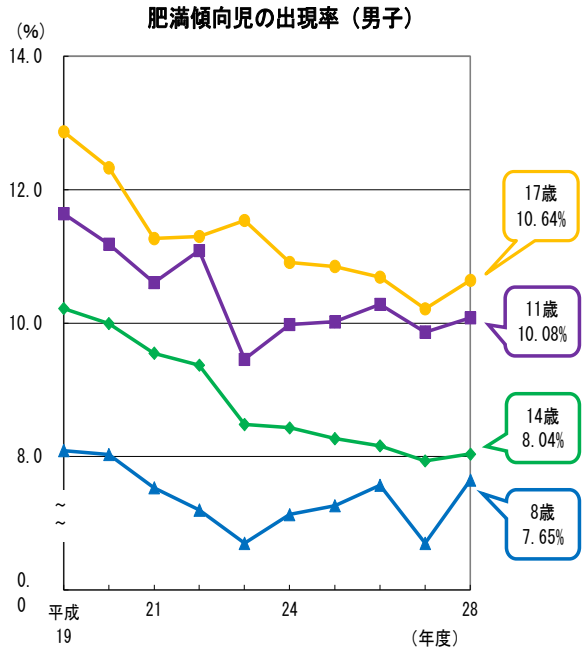
年齢層によりばらつきはあるが，平成18年度以降概ね減少傾向である。

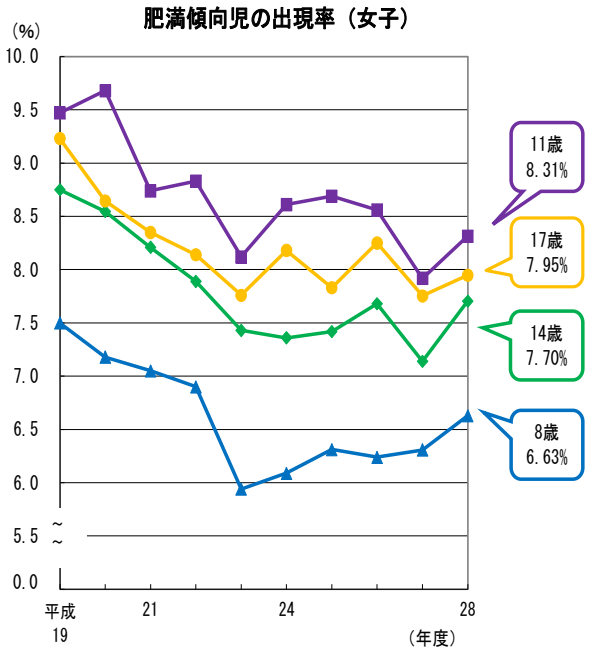
肥満傾向児とは，性別・年齢別・身長別標準体重を求め，肥満度が20%以上の者である。

肥満度＝［実測体重（kg）－身長別標準体重（kg）］／身長別標準体重（kg）×100（%）

例えば，11歳男子の全国平均値10.28%とは，肥満度20%以上の者の割合が男子児童（11歳）全体の10.28%であることを意味している。

区分		幼稚園	小学校						中学校			高等学校		
		5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳
男子	平成19年度	2.78	4.79	6.77	8.09	10.23	11.59	11.64	12.41	10.84	10.22	13.47	12.92	12.87
	20年度	2.87	4.52	6.19	8.03	10.36	11.32	11.18	11.97	10.28	9.99	13.45	11.85	12.33
	21年度	2.75	4.55	5.60	7.53	9.57	10.76	10.61	11.49	9.71	9.55	12.11	11.20	11.27
	22年度	2.80	4.46	5.62	7.20	9.06	10.37	11.09	10.99	9.41	9.37	12.40	11.57	11.30
	23年度	2.14	3.75	5.18	6.70	8.39	9.42	9.46	10.25	9.02	8.48	11.99	11.16	11.54
	24年度	2.41	4.09	5.58	7.13	9.24	9.86	9.98	10.67	8.96	8.43	11.41	10.25	10.91
	25年度	2.38	4.18	5.47	7.26	8.90	10.90	10.02	10.65	8.97	8.27	11.05	10.46	10.85
	26年度	2.55	4.34	5.45	7.57	8.89	9.72	10.28	10.72	8.94	8.16	11.42	10.16	10.69
	27年度	2.34	3.74	5.24	6.70	8.93	9.77	9.87	9.87	8.37	7.94	11.34	9.21	10.22
	28年度	2.68	4.35	5.74	7.65	9.41	10.01	10.08	10.42	8.28	8.04	10.95	9.43	10.64
女子	平成19年度	2.96	4.70	5.71	7.50	8.16	8.92	9.47	9.67	8.99	8.75	9.87	9.18	9.23
	20年度	2.78	4.57	5.88	7.18	7.91	9.42	9.68	9.84	9.05	8.54	9.56	8.40	8.64
	21年度	2.65	4.17	5.40	7.05	7.58	8.26	8.74	9.04	8.13	8.21	8.47	8.27	8.35
	22年度	2.83	4.23	5.13	6.90	7.51	8.13	8.83	8.92	7.96	7.89	8.59	7.81	8.14
	23年度	2.40	3.93	4.86	5.94	6.82	7.71	8.12	8.51	7.49	7.43	8.26	7.33	7.76
	24年度	2.36	4.37	5.23	6.09	7.23	7.73	8.61	8.64	7.90	7.36	8.51	7.74	8.18
	25年度	2.49	3.91	5.38	6.31	7.58	7.96	8.69	8.54	7.83	7.42	8.08	7.66	7.83
	26年度	2.69	4.15	5.41	6.24	7.36	8.40	8.56	7.97	7.89	7.68	8.35	7.44	8.25
	27年度	2.24	3.93	5.00	6.31	6.99	7.42	7.92	8.36	7.69	7.14	7.82	7.48	7.75
	28年度	2.44	4.24	5.18	6.63	7.17	7.86	8.31	8.57	7.46	7.70	8.46	7.36	7.95





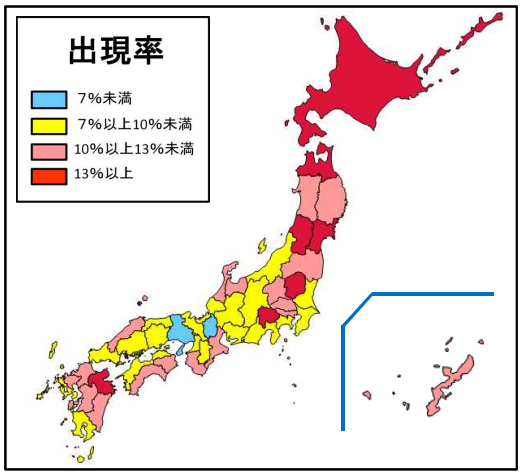
注１：「身長別標準体重」については，別添速報資料P.23を参照。
２：平成18年度から肥満傾向児の算出方法を変更。

（参考）肥満傾向児の出現率

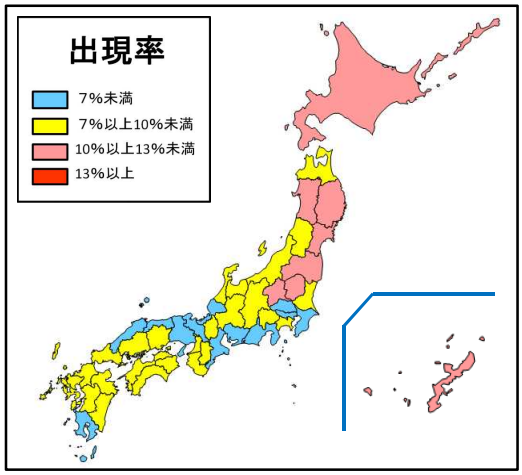
① 男子，女子共に肥満傾向児の出現率は低下している。
② 東北地方においては，従来より肥満傾向児の出現率は相対的に高い傾向がみられる。
③ 男子は女子に比べ，肥満傾向児の出現率が相対的に高い傾向がみられる。

〇平成28年度（男子）

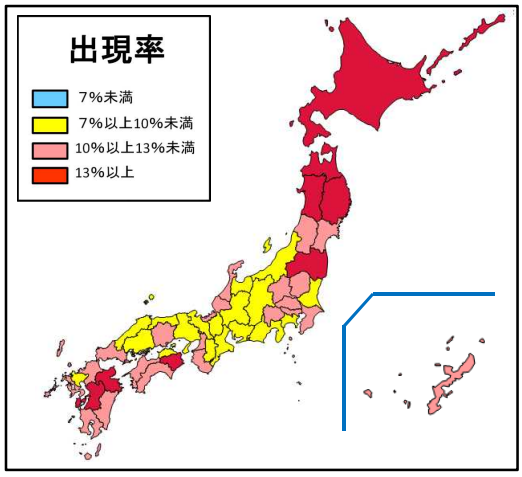
11歳（小学校６年生）男子（平均値10.08%）



14歳（中学校３年生）男子（平均値8.04%）

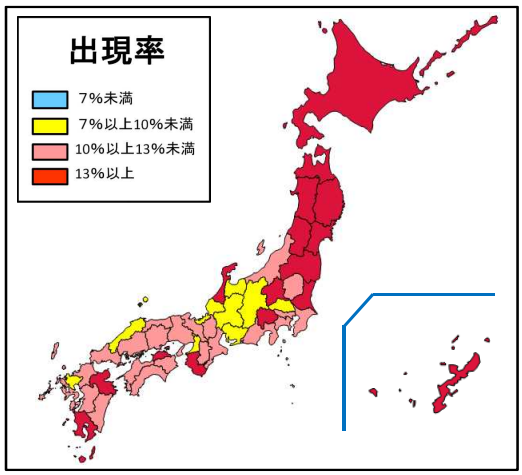


17歳（高校３年生）男子（平均値10.64%）

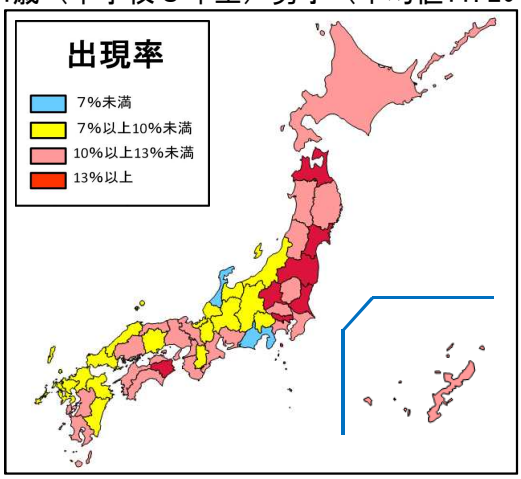


〇平成18年度（男子）
（肥満度の算出方法変更後初年度）

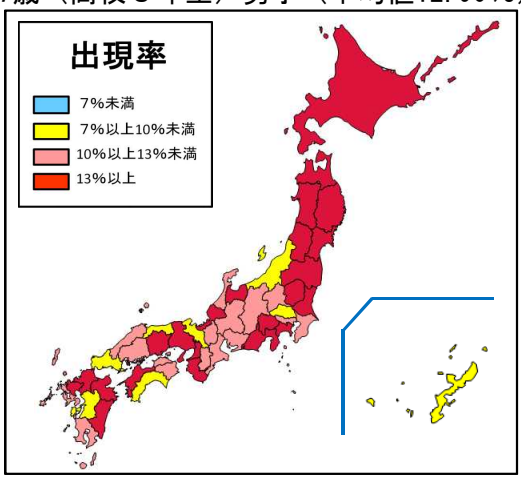
11歳（小学校６年生）男子（平均値11.82%）



14歳（中学校３年生）男子（平均値11.20%）



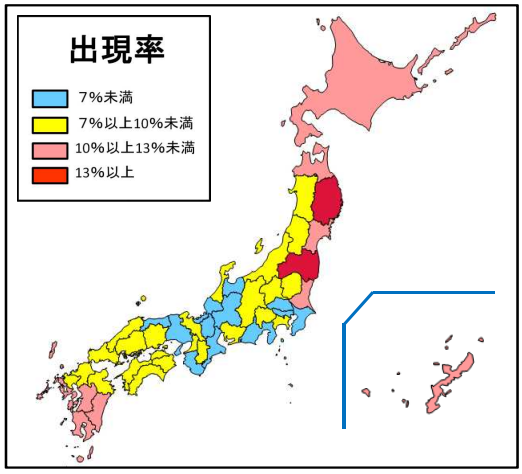
17歳（高校３年生）男子（平均値12.90%）



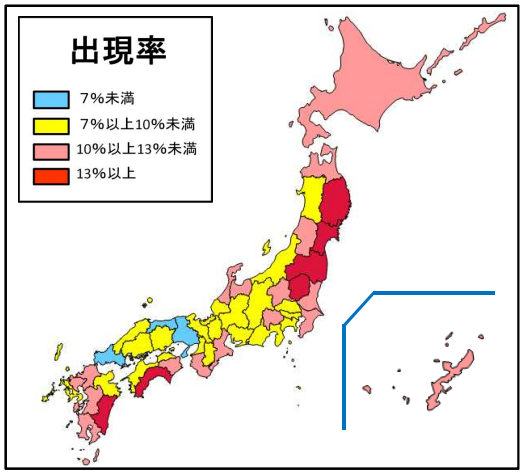
○平成28年度（女子）

○平成18年度（女子）
（肥満度の算出方法変更後初年度）

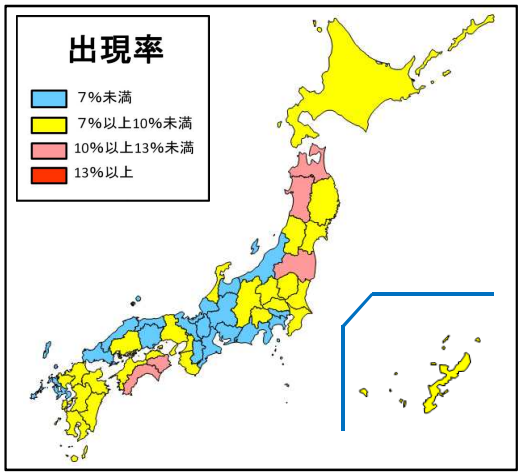
11歳（小学校６年生）女子（平均値8.31%）



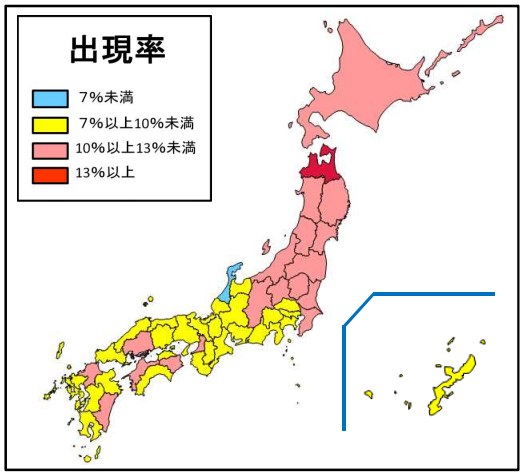
11歳（小学校６年生）女子（平均値9.95%）



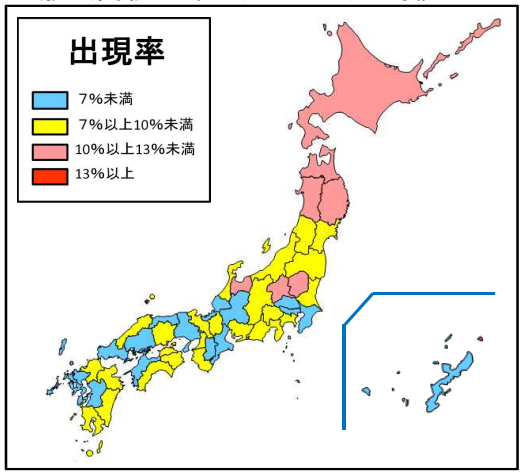
14歳（中学校３年生）女子（平均値7.70%）



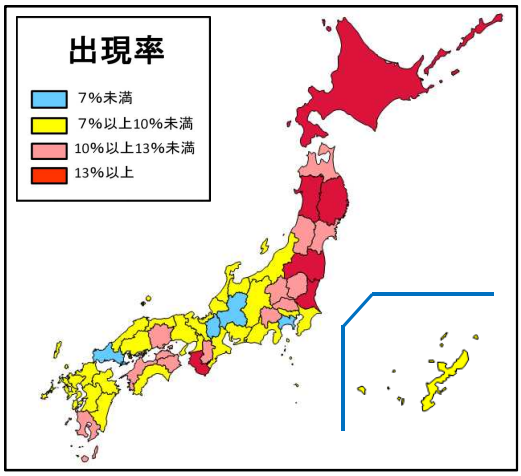
14歳（中学校３年生）女子（平均値9.20%）



17歳（高校３年生）女子（平均値7.95%）



17歳（高校３年生）女子（平均値9.67%）



６．主な疾病・異常等の推移

近年大きな変化はみられないが，むし歯（う歯）については改善傾向が続いている。また，裸眼視力1.0未満の者の割合は増加傾向にある。

むし歯（う歯）は中学校と高等学校で過去最低，裸眼視力1.0未満の者の割合は小学校，中学校及び高等学校で過去最高となっている。また，耳疾患が小学校，中学校及び高等学校で過去最高となったほか，口腔咽喉頭疾患・異常は幼稚園及び高等学校において過去最低となっている。

その他，従前からの調査項目「せき柱・胸郭」に「四肢の状態」を追加した。

○総括表

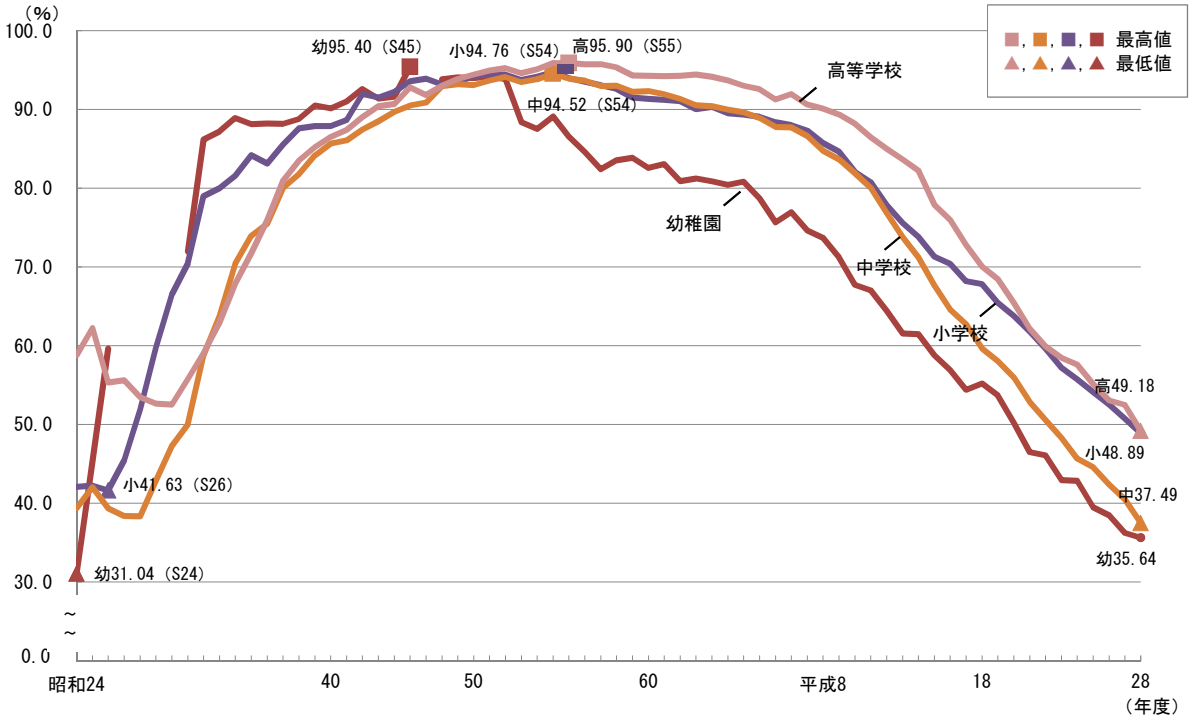
（%）

区分		むし歯（う歯）	アトピー性皮膚炎	ぜんそく	裸眼視力1.0未満の者	心電図異常	蛋白検出の者	せき柱・胸郭・四肢の状態（※注2）	耳疾患	鼻・副鼻腔疾患	口腔咽喉頭疾患・異常（こうくういんこうとう）
幼稚園	平成23年度	42.95	2.87	2.79	25.48	…	0.76	(0.16)	2.54	4.37	2.38
	24	42.86	2.88	2.33	27.52	…	0.58	(0.18)	2.60	3.50	1.46
	25	39.51	2.39	2.13	24.53	…	0.89	(0.19)	2.58	3.44	1.37
	26	38.46	2.37	1.85	26.53	…	0.74	(0.16)	2.27	3.13	1.74
	27	36.23	2.52	2.14	26.82	…	0.76	(0.11)	2.23	3.57	1.30
	28	35.64	2.39	2.30	27.94	…	0.65	0.28	2.83	3.58	1.14
小学校	平成23年度	57.20	3.30	4.34	29.91	2.51	0.75	(0.32)	5.52	12.50	1.51
	24	55.76	3.25	4.22	30.68	2.30	0.75	(0.36)	5.39	12.19	1.27
	25	54.14	3.06	4.15	30.52	2.62	0.74	(0.38)	5.43	12.07	1.32
	26	52.54	3.22	3.88	30.16	2.34	0.84	(0.46)	5.70	12.31	1.50
	27	50.76	3.52	3.95	30.97	2.35	0.80	(0.54)	5.47	11.91	1.23
	28	48.89	3.18	3.69	31.46	2.44	0.76	1.83	6.09	12.91	1.38
中学校	平成23年度	48.31	2.42	2.83	51.59	3.36	2.60	(0.80)	3.28	11.75	0.80
	24	45.67	2.47	2.95	54.38	3.32	2.50	(0.80)	3.62	11.39	0.70
	25	44.59	2.48	3.22	52.79	3.44	2.45	(0.83)	3.89	11.11	0.67
	26	42.37	2.52	3.03	53.04	3.33	3.00	(1.04)	4.00	11.21	0.67
	27	40.49	2.72	3.00	54.05	3.17	2.91	(1.02)	3.63	10.61	0.58
	28	37.49	2.65	2.90	54.63	3.30	2.57	3.43	4.47	11.52	0.69
高等学校	平成23年度	58.46	2.06	1.94	60.93	3.13	2.92	(0.62)	1.64	8.81	0.58
	24	57.60	2.07	1.91	64.47	3.02	2.67	(0.62)	1.88	8.63	0.46
	25	55.12	2.14	1.90	65.84	3.19	2.68	(0.58)	2.15	8.74	0.47
	26	53.08	2.14	1.93	62.89	3.25	3.14	(0.70)	2.05	8.72	0.54
	27	52.49	2.05	1.93	63.79	3.33	2.95	(0.74)	2.04	7.34	0.44
	28	49.18	2.32	1.91	65.99	3.39	3.29	2.46	2.30	9.41	0.42

注1：「心電図異常」については，6歳，12歳及び15歳のみ調査を実施している。
注2：「せき柱・胸郭・四肢の状態」については平成27年度までは「せき柱・胸郭」のみを調査。

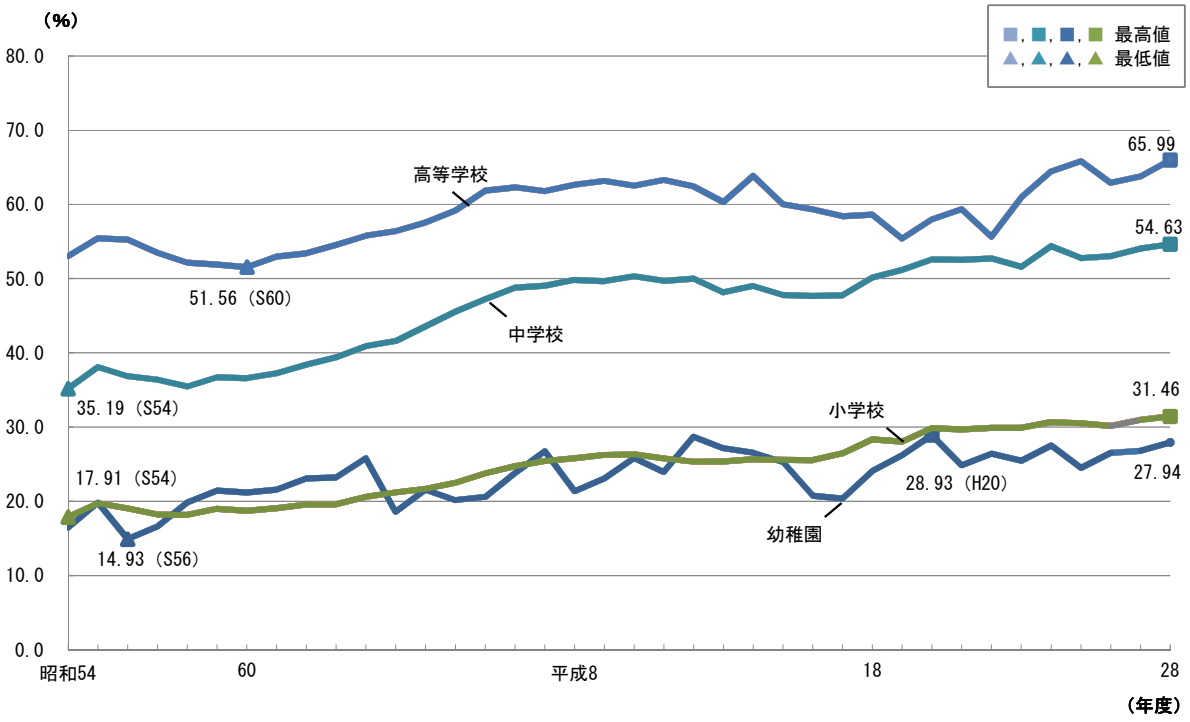
:過去最高
:過去最低

○「むし歯（う歯）」の者の割合の推移



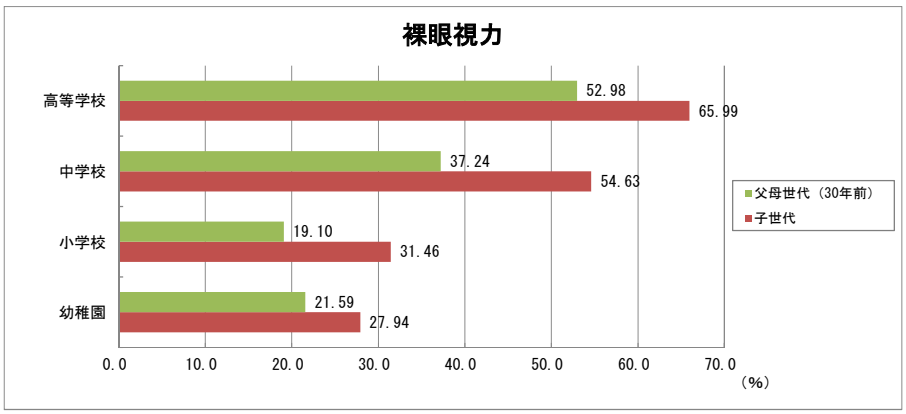
注：むし歯（幼稚園）については，昭和27から30年度及び昭和46年度は調査していない。

○「裸眼視力1.0未満の者」の割合の推移

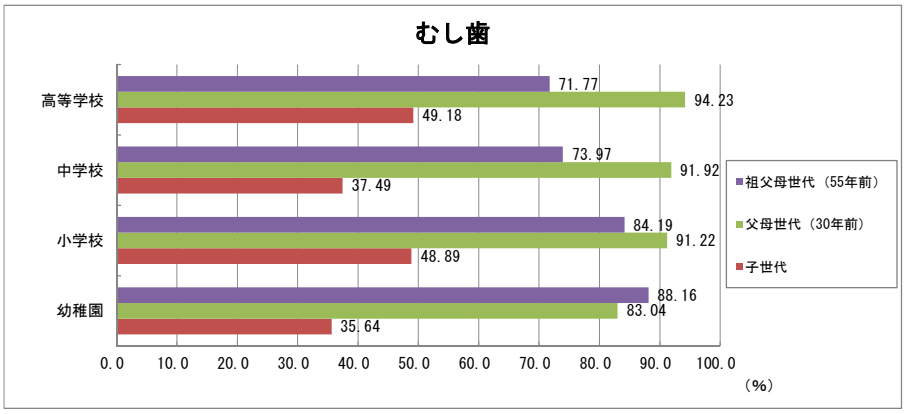


7．主な疾病・異常等の世代間比較

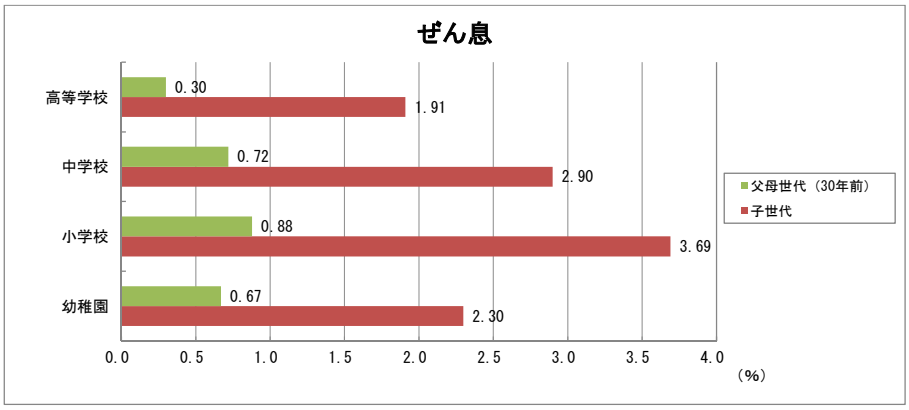
① 裸眼視力1.0未満の者は，父母世代に比べ子世代では多くなっている。



② むし歯のある者は，祖父母世代に比べ父母世代では多くなっていたが，父母世代に比べ子世代では減少している。



③ ぜん息のある者は，父母世代に比べ子世代では多くなっている。



※子世代：平成28年度調査，父母世代（30年前）：昭和61年度調査，祖父母世代（55年前）：昭和36年度調査結果による。